送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

- **あ** **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う
- **い** **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい
- **う** **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① きのう 教室に ぼうしを 忘れました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

② まいごの ねこを 探がして いる。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

③ きのうの 春風は 暖かかった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

④ おとうとと 身長を 比べました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑤ 六年の 先生は いつも 優かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑥ たんじょう日に 自転車が 欲かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑦ あしたは 雨が 降らない でしょう。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑧ げんかんの ドアを 閉めて ください。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑨ ともだちに 手紙を 届た。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑩ せんたくで セーターが 縮だ。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑪ この 問題は ちょっと 難しい。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑫ さいごの 答えを 誤まった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

しらべかた：線の ことばを 声に 出して 読み、漢字が 読む ところと ひらがなを くらべよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

あやかさんの　日記

十月　二十日　雨

修学旅行の　二日目。朝から　雨が　①降った。

ガイドさんの　話を　きくため、広場に　②座わった。

雨が　③激く　なり、みんな　先生の　話に　④従った。

つぎの　行き先を　ちずで　⑤確かめて　から、バスに　のった。

ホテルの　人に　さいふを　⑥預た。

ねる　前に　友だちと　今日の　ことを　⑦忘れない　ように　はなした。

ぬれた　くつ下を　⑧洗らった。ふろの　あとの　ジュースは　⑨冷たかった。

ほかの　クラスの　友だちとも　⑩親く　なった。

あるきすぎて　足が　⑪痛かった　けれど、この　旅は　心に　⑫刻だ。

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

小林先生へ

お元気ですか。ぼくたちの　町にも　春が　①訪ずれました。

そつぎょう式に　むけて、れんしゅうを　②重ねました。

先生は　いつも　③優しく、おわかれは　とても　④悲かったです。

休み時間は　校庭を　⑤走って　あそび、運動会は　⑥勝った。

こまっていた　下級生を　⑦助た　ことも　あります。

委員会の　しごとで　道具を　⑧片付けます。

図書室で　歴史の　本を　⑨読みました。中学校でも　えがおで　⑩過ごす　つもりです。

写真を　⑪届どけて　くれた　友だちへ、字を　⑫正く　かいて　おれいを　いいます。

あやかより

番号	○×	なおした　書き方 （×の　ときだけ）	記号 （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方 （×の　ときだけ）	記号 （あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）

なまえ

ひづけ

小6／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

おしらせの　文から、送りがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
表に　正しく　書きなおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。送りがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

かんきょう委員会の　おしらせ

来週の　水曜日、かんきょう委員会で　校庭の　そうじを　します。

朝八時に　校庭に　集まって ください。

ごみは　かならず　ごみばこに　捨てて ください。

激い　雨が　ふったら、そうじは　中止です。

そうじの　あとで　手を　洗って ください。

つかった　道具は　そうこに　納めます。

さいごに　みんなで　ほうきを　片付た。

きれいに　なった　校庭を　去年と　比べて みましょう。

水とうは　自分で　持もって　きて　ください。

手ぶくろが 欲い　人は　先生に　いって　ください。

番号	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	記号 （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん②（見なおし チェック）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／まちがいの わけを ことばで（5まいの うち ⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし チェック表 （自分の 作文を 書いたあとも つかえます）

- あ 漢字が 読む ところまで ひらがなに して いないか
- い 「しい」の「し」が ぬけて いないか
- う ひらがなが たりなくて 読めなく なって いないか

作文の 線の ことばを しらべて、表に ○か ×を 書こう。
×は 正しく なおして、まちがえた わけを ことばで 書こう。
まちがいは ぜんぶで 3こ。わけは 記号でなく ことばで。れい：「美い」は「し」が ない。

ひろきさんの 作文「歴史と ぼく」

ぼくは 歴史が すきで、図書室の 本を よく ①探して いる。

むかしの くらしは 今と ②異となって いた。

お金が なくて、とても ③貧しかった ことを しった。

人々は ④険い 山を こえて 旅を した。

歴史は 今の 世の中を ⑤支える 土台だと おもう。

これからも 自分で 答えを ⑥求る つもりだ。

番号	○×	なおした 書き方	まちがえた わけ（ことばで 書こう）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した	×思もう → ○思う
い	**「しい」の「し」が ない**	×美い → ○美しい
う	**そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない	×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① きのう 教室に ぼうしを 忘れました。

○ × （なおさない） ［　］

② まいごの ねこを ~~探がして~~ いる。

○ × **探して** **あ**

③ きのうの 春風は 暖かかった。

○ × （なおさない） ［　］

④ おとうとと 身長を 比べました。

○ × （なおさない） ［　］

⑤ 六年の 先生は いつも ~~優かった~~。

○ × **優しかった** **い**

⑥ たんじょう日に 自転車が ~~欲かった~~。

○ × **欲しかった** **い**

⑦ あしたは 雨が 降らない でしょう。

○ × （なおさない） ［　］

⑧ げんかんの ドアを 閉めて ください。

○ × （なおさない） ［　］

⑨ ともだちに 手紙を ~~届た~~。

○ × **届けた** **う**

⑩ せんたくで セーターが ~~縮だ~~。

○ × **縮んだ** **う**

⑪ この 問題は ちょっと 難しい。

○ × （なおさない） ［　］

⑫ さいごの 答えを ~~誤まった~~。

○ × **誤った** **あ**

つまずきやすいところ

探がして・誤まった は 送りすぎの 例。忘れました・暖かかった・比べました は 長く 見えても 正しい 書き方。
優かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

あやかさんの　日記

十月　二十日　雨

修学旅行の　二日目。朝から　雨が　①降った。

ガイドさんの　話を　きくため、広場に　②~~座わった~~（×→座った）。

雨が　③~~激く~~（×→激しく）なり、みんな　先生の　話に　④従った。

つぎの　行き先を　ちずで　⑤確かめて　から、バスに　のった。

ホテルの　人に　さいふを　⑥~~預た~~（×→預けた）。

ねる　前に　友だちと　今日の　ことを　⑦忘れない　ように　はなした。

ぬれた　くつ下を　⑧~~洗らった~~（×→洗った）。ふろの　あとの　ジュースは　⑨冷たかった。

ほかの　クラスの　友だちとも　⑩~~親く~~（×→親しく）なった。

あるきすぎて　足が　⑪痛かった　けれど、この　旅は　心に　⑫~~刻だ~~（×→刻んだ）。

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	座った	あ
③	×	激しく	い
④	○	（なおさない）	
⑤	○	（なおさない）	
⑥	×	預けた	う

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	○	（なおさない）	
⑧	×	洗った	あ
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	親しく	い
⑪	○	（なおさない）	
⑫	×	刻んだ	う

つまずきやすいところ

座わった・洗らった は 送りすぎの 例。確かめて・忘れない・冷たかった は 長く 見えても 正しい 書き方。
激く のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ　**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した　　×思もう　→　○思う

い　**「しい」の「し」が　ない**　　×美い　→　○美しい

う　**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない　　×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。

まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

小林先生へ

お元気ですか。ぼくたちの　町にも　春が　①~~訪ずれました~~（×→訪れました）。

そつぎょう式に　むけて、れんしゅうを　②重ねました。

先生は　いつも　③優しく、おわかれは　とても　④~~悲かった~~（×→悲しかった）です。

休み時間は　校庭を　⑤走って　あそび、運動会は　⑥勝った。

こまっていた　下級生を　⑦~~助た~~（×→助けた）　ことも　あります。

委員会の　しごとで　道具を　⑧片付けます。

図書室で　歴史の　本を　⑨読みました。中学校でも　えがおで　⑩過ごす　つもりです。

写真を　⑪~~届どけて~~（×→届けて）　くれた　友だちへ、字を　⑫~~正く~~（×→正しく）　かいて　おれいを　いいます。

あやかより

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	×	訪れました	あ
②	○	（なおさない）	
③	○	（なおさない）	
④	×	悲しかった	い
⑤	○	（なおさない）	
⑥	○	（なおさない）	

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	×	助けた	う
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	○	（なおさない）	
⑪	×	届けて	あ
⑫	×	正しく	い

つまずきやすいところ

訪ずれました・届どけて は 送りすぎの 例。重ねました・片付けます・読みました は 長く 見えても 正しい 書き方。
悲かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

いちごドリル プリント

送りがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）【こたえ】

なまえ

小6／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

ひづけ

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう	→ ○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い	→ ○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る	→ ○考える

おしらせの　文から、送りがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
表に　正しく　書きなおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。送りがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

かんきょう委員会の　おしらせ

来週の　水曜日、かんきょう委員会で　校庭の　そうじを　します。

朝八時に　校庭に　集まって ください。

ごみは　かならず　ごみばこに　捨すてて ください。

激い 雨が　ふったら、そうじは　中止です。

そうじの　あとで　手を　洗って ください。

つかった　道具は　そうこに　納めます。

さいごに　みんなで　ほうきを　片付た。

きれいに　なった　校庭を　去年と　比べて みましょう。

水とうは　自分で　持もって　きて　ください。

手ぶくろが 欲い 人は　先生に　いって　ください。

番号	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	記号 （あ・い・う）
①	捨すてて	捨てて	あ
②	激い	激しい	い
③	片付た	片付けた	う
④	持もって	持って	あ
⑤	欲い	欲しい	い

つまずきやすいところ

○の まま よい ことば（長く 見えても 正しい 書き方）：集まって・洗って・納めます・比べて
捨すてて・持もって は 送りすぎの 例。
激い のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（見なおし　チェック）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／まちがいの　わけを　ことばで（5まいの　うち　⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし　チェック表　（自分の　作文を　書いたあとも　つかえます）

- あ　漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　して　いないか
- い　「しい」の「し」が　ぬけて　いないか
- う　ひらがなが　たりなくて　読めなく　なって　いないか

作文の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、まちがえた　わけを　ことばで　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　3こ。わけは　記号でなく　ことばで。れい：「美い」は「し」が　ない。

ひろきさんの　作文「歴史と　ぼく」

ぼくは　歴史が　すきで、図書室の　本を　よく　①探して　いる。

むかしの　くらしは　今と　②~~異となって~~（×→異なって）　いた。

お金が　なくて、とても　③貧しかった　ことを　しった。

人々は　④~~険い~~（×→険しい）　山を　こえて　旅を　した。

歴史は　今の　世の中を　⑤支える　土台だと　おもう。

これからも　自分で　答えを　⑥~~求る~~（×→求める）　つもりだ。

番号	○×	なおした　書き方	まちがえた　わけ（ことばで　書こう）
①	○	（なおさない）	
②	×	異なって	「異なる」の「こと」の 読みまで ひらがなに して いる（送りすぎ）。
③	○	（なおさない）	
④	×	険しい	「険しい」の「し」が ぬけて いる。
⑤	○	（なおさない）	
⑥	×	求める	「求める」の「め」が たりなくて、「もとる」と 読んで しまう。

丸つけの めやす

わけは どんな ことばでも よい。つぎの 考え方が 入って いれば ○（記号だけは ×）：
□ あ：漢字が 読む ところ（「こと」の「と」など）まで ひらがなに している
□ い：「しい」の「し」が ぬけている
□ う：ひらがなが たりなくて 正しく 読めない